

## イベント情報

立命館アジア太平洋大学

2019年1月11日 配信 APUリリース 2018-60

Shape your world

APU

Ritsumeikan  
Asia Pacific University

### 多文化共生社会の実現を目指して 大分県は“日本語で通じるけん”をキャッチコピーに 「ひるまちにほんご」今月も開催 日本語だけで留学生と地域の方が交流 今回のテーマは「漢字」!

日時：2019年1月12日(土) 13:00~15:00

場所：スパイス食堂クーポノス 2階 (〒874-0942 別府市千代町 11-25)

この取組みは、2016年4月の熊本地震をきっかけに実施した、APU教員による学生への調査で、市民と外国人の間に言葉や文化の違いから誤解が生じたりすることがわかり、普段から交流を持つことで、災害時や困ったときに抵抗なくお互いに歩み寄れることができると、有志のAPU日本語教員により、2016年11月にスタートしました。別府市民の方々に、地域に暮らす外国人とのコミュニケーションは、英語でなくても平易な日本語を使えば可能という「やさしい日本語」の考え方を知ってもらおうと、毎月1回開催しています。

今回のテーマは「漢字」。漢字を好きな人も苦手な人も一緒に漢字について、「日本語」で話そうという企画です。2019年をどんな年にしたいのか、「漢字」で表してみたり、「漢字」で遊んだりします。

#### 「ひるまちにほんご」概要

日時：2019年1月12日(土) 13:00~15:00

場所：スパイス食堂クーポノス 2階 (〒874-0942 別府市千代町 11-25)

参加費：飲み物 1杯 ※会の前にクーポノスでランチ(飲み物付き)を注文された方は、また改めて飲みものを注文されなくても大丈夫です。

対象：どなたでもご参加いただけます。

**「ひるまちにほんご」は、昨年12月からご支援を募っている、APUのクラウドファンディング、「共生できるまちづくり！国際学生と地域の交流プログラムを」の交流プログラムの一つです。**

このクラウドファンディングでいただくご支援を元に、APUの国際学生の日本語教育を地域の人々と共に進めながら、高齢化するコミュニティ全体の防災力UPや、外国人対応力UPに繋げていきます。この取組みは別府を日本一の多文化共生の街へ、そして世界の未来モデル地域となることを目指しています。

#### 【クラウドファンディング詳細】

目標額：100万円

期間：2019年2月14日(木) 午後11:00まで

最低寄附額：3,000円から

代表者：本田明子教授 (APU言語教育センター長)

返礼品：国際学生からのお礼のお手紙、報告書、  
キャンパスのご案内、日本語授業見学等

事務局：APUリサーチ・オフィス

URL：<https://readyfor.jp/projects/apucle>

